第２０４０回埼玉県教育委員会定例会議事録

１　日　時　　令和８年１０月２９日（木）　　午前１０時開会

午前１１時１分終了

２　場　所　　埼玉県教育局教育委員会室

３　出席者　　石川教育長、今井教育長職務代理者、神山委員、小野委員、鈴木委員、古田土委員、佐藤副教育長、案浦参事、小谷野教育総務部長、岡島市町村支援部長、平野教育総務部副部長、千野県立学校部副部長、薬師寺保健体育課主幹兼主任指導主事、酒井県立学校人事課長、阿部市町村支援部参事兼小中学校人事課長

廣川書記長、高久書記、宮書記、荻野書記、齊藤書記、北澤書記

４　会議の主宰者　　石川教育長

５　会　議

o　石川教育長が、令和８年１０月１８日付けで教育委員会委員に就任した古田土等委員を紹介した。

o　石川教育長が、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、今井委員を教育長職務代理者に指名した旨報告した。

o　石川教育長が、古田土委員の就任に伴い、埼玉県教育委員会会議規則の規定に基づき、各委員の議席を指定した。

(1)　前回議事録の承認

o　全出席委員異議なく本件記載どおり承認

o　石川教育長が、今井委員を議事録の署名者に指名した。

o　会議を公開しないこととする事項について

石川教育長が、第８６号議案から第８９号議案までの審議について、会議を公開しないこととする動議を提出

全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定

o　日程の変更について

石川教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程について先に行うこととする動議を提出

全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定

(2)　報告事項

学校安全教育について

千野県立学校部副部長（提出理由、学校安全の概要、学校安全における本県の課題、学校安全総合支援事業の現状と課題、学校安全総合支援事業の成果の普及について説明）

鈴木委員　大変素晴らしい取組だと思います。是非この取組を進めていただきたいと思います。１点質問ですが、生活安全（防犯）について、未然の取組として資料の４ページに、校舎入口での受付管理や、正門・裏門の管理などが記載されておりますが、最近は、この未然防止というのは、防犯カメラの設置というのがやはり基本になっていると感じております。学校視察に行くと、防犯カメラが付いている学校は、実はまだ少ないのではないかと思っております。防犯カメラを取り付けるような取組は、何か行われているのでしょうか。

千野県立学校部副部長　校種によっては、その必要性に応じて、それぞれ対応している場合がございますが、まだ防犯カメラについては、一般的に広く一律に設置されているという状況ではございません。ただ、その学校ごとの状況に応じて検討していく必要があると考えております。

鈴木委員　もちろん予算的な部分もあると思いますが、感覚的にはやはり、世の中的には、既に一般に広く浸透していて、恐らく設置価格も以前に比べるとずっと下がっていると思います。是非これも検討いただきたいと思います。

千野県立学校部副部長　やはりまず必要性の高いところ、重点的なところを見極めて、検討していく必要があると考えております。

古田土委員　防犯も災害も、それから交通安全も、県警も含めて関係機関と連携していろいろな取組をされているということで、非常に良い取組が行われていると感じました。ただ、一つ懸念しているのが、高校生の自転車の交通安全についてです。先般、自転車の交通違反に対し、１６歳以上の方が対象だと思いますが、違反すると青切符を切られてしまうという制度になっています。違反で捕まるなということもさることながら、その前にやはり交通ルールをしっかり教えていただければ思います。高校生は結構危ない運転をしているような印象がありますので、引き続き、高校生の自転車の交通安全に努めていただきたいと思います。

千野県立学校部副部長　委員の御指摘のとおりだと思います。高校に入学した段階で、一律で全員に、まず講習会を実施しておりますので、その中で、こうした青切符制度についてもよく周知をして、理解を深めてもらうことが必要だと考えております。また、この新しい、いわゆる青切符制度につきましては、教育委員会として、各学校へ通知を出しており、そういった状況を踏まえて、よく児童生徒へ指導するように周知をしております。引き続き、こうした取組を推進してまいりたいと考えております。

神山委員　各委員の御指摘の追加で発言させていただきます。やはり高校生が圧倒的に多いとは思いますが、中学生についても、通学で自転車を使っている方は少ないですが、町を歩いていて目に付くのは部活動での移動です。乗り慣れない自転車に、ヘルメットも付けずに乗っている姿を見掛けますし、特に集団で乗っている状況は、県内のいろいろな地域で散見されるかなと思います。ですので、部活動の移動の安全性というところで、少し話が反れてしまいますが、注目されている部分でもありますので、市町村が主体となる内容かとは思いますが、部活動の移動における交通安全も含めて、今後取組を進めていただきたいと思います。

千野県立学校部副部長　御指摘ありがとうございます。部活動の移動については、部活動の地域展開が進む中で、そういった場面が多くなってくると思います。また、ヘルメットの着用については、中学校では校則で定められている場合もありますので、そうしたルールや、交通ルールの周知についても、引き続き取り組んでまいります。

小野委員　私は災害安全のところに関して、少し述べさせていただきたいと思います。高校生の災害ボランティアについて、「自分事として捉える」という説明が繰り返されていたかと思いますが、そのためには非常に有効な取組だと思いました。生徒は、学校が災害時の避難場所になるということは、実はあまり認識していないと思います。例えば体育館など、安全が担保された施設として学校が位置付けられていて、自分たちが通っている学校が、いつ何時そのような役割を担うことになるのか分かりません。そうなったときに、自分たちに何ができるかというところを、正に「共助」という観点から伝えていくということはすごく重要なことだと思います。それからニュースなどでもよく、各地の災害時における高校生ボランティアの活躍が取り上げられていますが、そうした事例に触れることも、正に自分事として捉えるというときに、すごく有効ではないかなと思います。資料８ページの今後の方向性のところで、「モデル事業終了後も取組を継続できる仕組みの構築」ということが挙げられていますので、是非そのような形での展開ということも、今後取り組んでいただきたいと思います。

千野県立学校部副部長　御意見ありがとうございます。やはり体育館でダンボールベットやパーテーションなど、いろいろなものを実際に作ってみるという経験は、高校生にとっては非常に有意義なものだと思いますし、身になる取組だと思います。そういった研修を取り入れながら、モデル事業終了後も継続して意識を高めていただくように、また、学校については、引き続きそういった意識で取り組んでもらえるようにしてまいります。

今井教育長職務代理者　今の小野委員に続いてですが、資料の７ページに「高校生災害ボランティア育成講習会」というものがありますが、これからこの取組を継続するに当たって、例えばこの講習会を受けたときに、修了証や証明書の発行というのは何か考えているのでしょうか。

薬師寺保健体育課主幹兼主任指導主事　現時点では、ボランティア育成講習会の受講者に対する修了証は準備しておりません。ただいま御意見を頂きまして、確かにそのとおりだと思いました。今後検討したいと思います。

今井教育長職務代理者　やはり、受講して終わりではなく、それをいかに活用する

かということがとても大切だと思います。この講習を受けたことによって証明書が発行されて、何かあったときには、自ら取り組めるような形につなげていくためにも、修了証などの形で、こういう講習を受講したということを証明できるようにしてあげるということも一つの方法だと思いますので、是非御検討いただきたいと思います。

千野県立学校部副部長　是非検討したいと思います。

(3)　次回委員会の開催予定について

１１月１１日（水）午前１０時

＜非公開会議結果＞

議事

第８６号議案　教職員の懲戒処分について　上程

交通事故を起こした南部地区の県立特別支援学校の女性教諭（５２歳）に対して、１か月間、給料の月額の１０分の１を減給する懲戒処分を決定しました。

第８７号議案　教職員の懲戒処分について　上程

非違行為を行った杉戸町立杉戸小学校の男性教諭（３０歳）に対して、３か月間、給料の月額の１０分の１を減給する懲戒処分を決定しました。

第８８号議案　教職員の懲戒処分について　上程

非違行為を行った狭山市立富士見小学校の男性教諭（４５歳）に対して、１月間停職する懲戒処分を決定しました。

第８９号議案　教職員の人事について　上程

令和８年１１月１日付け埼玉県公立小・中学校等の校長の人事異動を決定しました。